

NEWSLETTER FROM
TICON GROUP

FORWARD

July-September 2016 | ISSUE 11

アセアン経済共同体(AEC)が
大メコン経済圏(GMS)諸国及び、
マレーシア、シンガポールの
物流に及ぼす影響(2)

オフショア会社と
ファイナンス戦略(2)

事業者のニーズ拡大に
対応するため、
アマタナコン工業団地内の
TICON工場を拡張

リーン生産方式と
産業への影響



TPARKランプーン、
北部初のレンタル倉庫
プロジェクト

NO. 1 PROVIDER OF FIRST-CLASS WAREHOUSE IN ASEAN



- International Quality
- Ready to Use
- Strategic Locations

Contact Us: **02-679-6565**

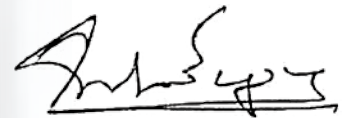


Message from the Managing Director

国内外の景気低迷や政治状況が投資決断に影響を与えているのは事実ですが、TICONはこの厳しい環境を克服し、目標としてきた入居率を達成しています。このことは、最適な場所に即入居可能で高品質な物件をお客様に提供するという当社の戦略が正しいことを明確に示していると言えます。

当社は、製造拠点の拡張を希望するお客様のニーズに対応するため、既存プロジェクト内にある工場の拡張を進めています。例えば、アマタナコン工業団地では15,000㎡を追加する計画を開始しましたし、アジア工業団地（スワンナプーム）では5,500㎡が紹介できるようになり、ロジャナ工業団地（プラチンプリ）では4,000㎡が追加で提供できるようになりました。

倉庫については、ランブーン県のTPARKランブーン、コンケン県のTPARKコンケンで物件の提供を開始しました。これら2カ所のプロジェクトは、この地域における消費財製造、小売りチェーン、物流の各事業に適しています。当社はさらに、近隣国への進出も計画しています。これらの魅力的なプロジェクトは近々皆様にご報告いたします。



Mr. Virapan Pulges
Managing Director
TICON Industrial Connection Public Company Limited

ISSUE 11 July-September 2016

CONTENTS

FACTORY SPOTLIGHT

事業者のニーズ拡大に対応するため、アマタナコン工業団地内のTICON工場を拡張 **8**

WAREHOUSE SPOTLIGHT

TPARKランブーン、北部初のレンタル倉庫プロジェクト **10**

COFFEE TIME WITH GURUS **4**

アセアン経済共同体(AEC)が大メコン経済圏(Greater Mekong Sub-region=GMS) 諸国、マレーシア及びシンガポールの物流に及ぼす影響 (2)

JAPAN CORNER **6**

タイ人旅行者は世界一のスマホ中毒

PROPERTY HIGHLIGHT **12**

INVESTOR FOCUS **13**

オフショア会社とファイナンス戦略 (2)

EVENTS NEWS **14**

NEW TENANTS **15**

OPERATION CAFE **16**

リーマン生産方式と産業への影響

SPECIAL COLUMN **18**

キューネ・アンド・ナーゲル社
(KUEHNE + NAGEL) について

TAKE A BREAK **19**

Baan Ton Cake

FORWARD

Consultants

MR. VIRAPAN PULGES
MR. TAN JITAPUNKUL

Executive Editor (English)

MS. HATAIKAN DUTTADINTORN
MR. RUAIRIDH WATTERS
MR. THANATDECH SIRIVORANAN

Executive Editor (Japanese)

MR. TAKASHI FUSE

Executive Editor / Art & Design Director

MS. HATAIKAN DUTTADINTORN
MR. THANATDECH SIRIVORANAN

Editorial Staff

MR. THANATDECH SIRIVORANAN

TICON TPARK

Published on Behalf of:

TICON GROUP

175 Sathorn City Tower, 13th Floor,
Suite 1308, South Sathorn Road,
Sathorn, Bangkok
10120 Thailand

Tel: +66 (0) 2679 6565
Fax: +66 (0) 2679 6569
Email: logistics@ticon.co.th

www.ticon.co.th

Follow us on
Twitter@TPARK_Live



Article by Dr. Vatcharapol Sukhotu

Logistics and Supply Chain Professor
Naresuan University
Contact: vsukhotu@aggiennetwork.com

アセアン経済共同体 (AEC) が 大メコン経済圏 (Greater Mekong Sub-region=GMS)

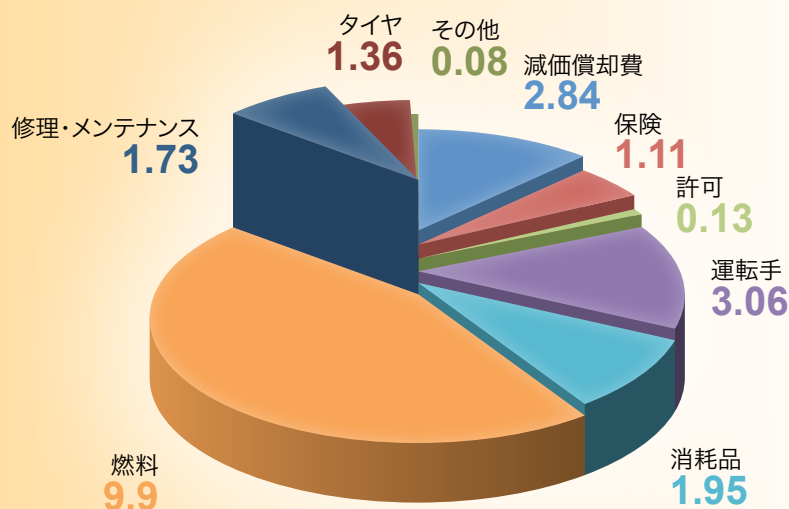
諸国、マレーシア及びシンガポールの物流に及ぼす影響 (2)



物流事業の重要な問題は「コストはいくら」ということでしょう。調査結果によると、中国南部からシンガポールに至る南北経済回廊の輸送コストはセミトレーラーの場合、平均的なオペレーションコストが1KM当り22.16バーツ、ノンオペレーティング・コスト(物流活動から発生するがコストには含まれない)が同3.72バーツということが判明しました。

円グラフには2種類のコストの内訳を示しました。物流業者から見てオペレーティングコストは固定費ですが、当然のことながら、これはGMSで従来から行われている海上輸送や空輸といった輸送方法のコストや所要日数と比較検討する必要があります。

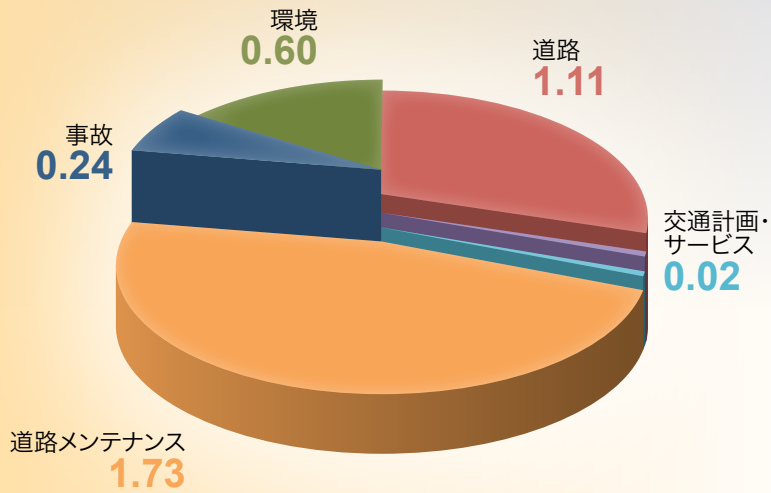
オペレーティング・コスト (1KM当りタイバーツ)



南北経済回廊における平均輸送コスト(1km当り)

出所: 南北経済回廊における実際の輸送コストとその変化に関する調査2013年

ノンオペレーティング・コスト（1KM当りパーツ）



南北経済回廊における平均輸送コスト(1km当り)

出所：南北経済回廊における実際の輸送コストとそ
の変化に関する調査2013年

ノンオペレーティングコストは、マクロ経済レベル面に関心があり、次のような質問が出てきます。即ち、AECが東西経済回廊および南北経済回廊の物流活動の増加をもたらすとしたら、全てのタイ国民が税金を通じて負担するタイのコストはどうなるのかと

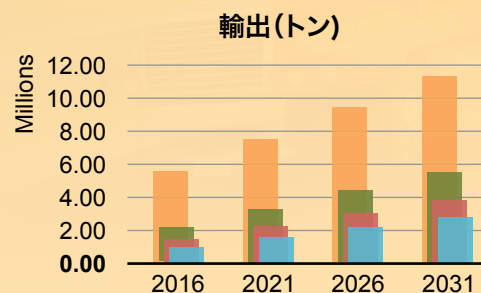
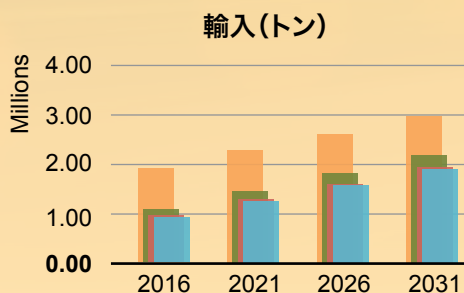
いう点です。仮にタイが単なる通過点でしかない場合、ノンオペレーティングコストに見合うだけの経済的利益をタイが得られるのか。それとも物流業者のコスト増につながる通行料金を徴収すべきなのか。調査では、タイ国内の多くの物流業者は通行料金に関し

て、外国の物流業者からも公平に徴収し、実際の物流コストの不公平感が小さくなるのであれば反対はしないという考えであることがわかりました。なぜなら、AECがスタートすることによってタイ国内の物流業者も他国のインフラを使う立場にあるからです。

コスト以外で物流業者や物流関連機関が言及する論点は、各国で異なる物流関連の法律です。例えば、トラックの重量、異なる走行車線、国境ポイントにおける業務時間の違い、国外の事業者との業務連携における障害、道路状況などが挙げられます。

AECの発足は各国の経済トレンドと相俟って物流を生み出し、物流の増加は特に経済回廊に沿ったインフラ改善の引き金になるでしょう。さらには、GMS諸国とマレーシア及びシンガポール間の物流活動にも影響を及ぼし、物流業者がコストや所要日数を比較検討できる選択肢が増えることにもなります。マクロ経済面から見て、ルートを中心に位置しているからといって、その国が物流ハブになるということにはなりません。物流業者と政策決定者の両者が付加価値を生むための行動を起こす必要があります。さもないと、ノンオペレーティングコストに見合った経済的利益を享受することはできないでしょう。

国境ポイントにおける物流量の増加予測



出所：南北経済回廊における実際の輸送コストとそ
の変化に関する調査2013年

■ チェンコン ■ チェンセン ■ メーサイ ■ サダオ

Disclaimer: This article was written by third parties. Such article is owned by their authors for publication on the newsletter. TICON group does not warrant, endorse, guarantee or assume responsibility for any third party articles including their accuracy, or the intellectual property rights in or relating to such article. For more information, please contact directly to the author of this article.



Mr. Takashi Fuse
Advisor
TICON Logistics Park Co., Ltd.

今号のJAPAN CORNERでは最近私が興味を持った新聞記事をご紹介します。



タイ人旅行者 は世界一のスマホ中毒

2016年7月21日のバンコクポスト紙に掲載されていた記事です。



Hotels.comという世界中のホテルを予約するサイト(会社)が、最近の旅行者は旅先で観光を楽しむよりもスマホの画面に入っている時間の方が長いとの調査結果を発表しました。この会社が31カ国で9,200人を対象に調査したところ、旅先や休暇中にソーシャルメディアに最もはまっている

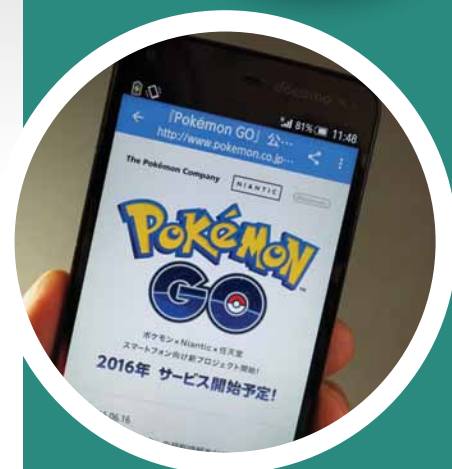
のはタイ人で、観光に費やしている時間が平均2時間なのに対し、平均4時間スマホの画面を眺めているとのこと。これは調査した9カ国の旅行者の中では最長で、インド人(3.3時間)、マレーシア人(3.2時間)、中国人(3.1時間)がこれに続くとのこと。観光スポットの情報を得る、経路を確かめ

“smartphone is a convenient tool (or a toy), but concentrating your attention on its small screen undoubtedly narrows down your visibility and hikes the probability of accidents and other problems.”

る、レストランを探すなどのためにスマホを使う時間が長くなるという事情はあるのかもしれませんが、訪問すべき場所や施設は事前に調べられるはず。記事ではタイ人とは言っていないが、1日7時間もスマホを操作している旅行者が10%ほどいるとのこと、これでは何のために高いお金を払って外国旅行に行くのか分かりません。

タイ人に限ったことではなく、日本も含めていまや世界中どこでも多くの人々がスマホを操作しています。先日BTSに乗ったところ、座席にいる7人と反対側の7人、合計14人全員がスマホを操作していました。こうした現象は日本でも同じで、座席にいる乗客のほとんどがスマホをいじっていますし、立ったまま小さい画面を見ている人も大勢います。本や新聞を読んでいる人はほとんど見かけません。

スマホは確かに便利な道具ではありますが、あの小さな画面に集中すれば当然視野は狭くなって周囲は見えなくなり、事故やトラブルにつながる可能性が大きくなります。歩きながら或いは車を運転しながら操作しなければならないほどの緊急用件を多くの人々が抱えているとは思えません。ゲームをしているのかメールをやり取りしているのか或いは何か調べているのか分かりませんが、なぜ止まって操作しないのか不思議です。



ポケモンGOというゲームが世界中で流行しています。日本ではポケモンが出る場所を求めて住宅の敷地に入ったり立ち入り禁止場所に入ったりしてトラブルになっているケースが報道されています。また交通事故や違反も出ており、警察庁によれば、ポケモンGOが配信されてから6日間で、車や自転車を運転しながらスマホを操作していたことによる追突事故、交通標識見落としによる軽微な事故などが合計406件発生したとのことです。

タイでは9月にポケモンGOが配信されるとの情報が流れていましたが、本稿を書いた8月上旬には配信が始まりました。スマホ中毒気味のタイ人のスマホ操作時間がいっそう増えるのではないかと気がします。ポケモン探しに夢中になるあまり執務時間中にスマホを操作する、昼休み終了時間から大幅に遅れて事務所に戻る、そんなタイ人が増えるのではないかと危惧します。さらに車を運転しながらスマホを操作するドライバーが増え、事故につながるのではないかと心配もあります。ゲームを楽しむのは構いませんが、他人に迷惑をかけない、常識を弁えた節度ある楽しみ方をして欲しいと思っています。■



事業者のニーズ拡大に対応するため、

アマタナコン工業団地内の TICON工場を拡張

今回ご紹介するのは、TICONが自信を持ってご提案するアマタナコン工業団地内にある即入居可能な高品質レンタル工場です。当プロジェクトはタイ企業並びに外国企業双方のさまざまな産業にとって戦略的な立地場所にあると言えます。

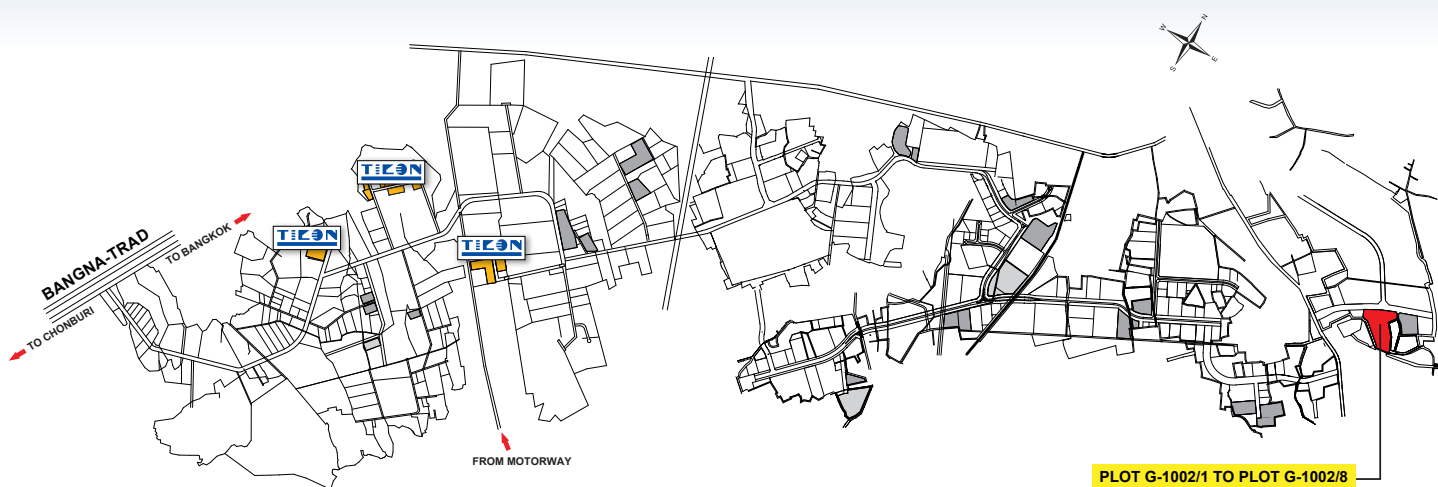


プロジェクトの特徴

- TICON工場はタイ国内でも主要工業団地のひとつであり、自動車産業、エレクトロニクス産業の生産拠点となっているアマタナコン工業団地内にあります。
- バンコク都内、国際空港、タイ東部、主要工業団地にアクセスが便利な好立地です。
- グローバルな品質と基準を満たした工場です。
- TICONは、製造業者が即入居可能な工場を用意しています。これにより土地探しや工場建設の時間が節約できます。



AMATA NAKORN ESTATE LAYOUT

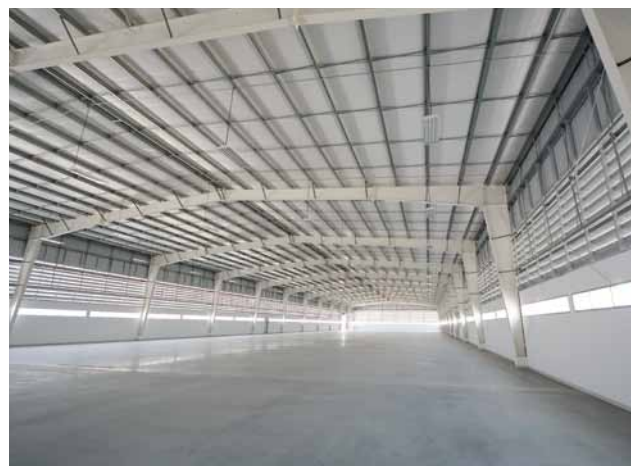


NEW PHASE 15,000 SQ M.
NOW AVAILABLE!

このプロジェクトはスワンナプーム空港、レムチャバン港へのアクセスに便利であり、さらに主要な工業団地に囲まれ、バンナー・トラート高速道路やバンコク・チョンブリ・モーターウェイにも近いということで、自動車産業やエレクトロニクス産業にとって最高の場所の中心にあると言えます。このプロジェクトにある工場はすべて十分なインフラを備えています。

TICONは、お客様のニーズは同じではないことを理解しており、生産規模に応じて1,750㎡～4,500㎡の各種サイズを用意してさまざまな面積要求に対応しています。天井の高さは7m、床耐荷重は2トン/㎡となっています。

当社は、増え続けるニーズに対応するため、15,000㎡の工場を建設、いつでも入居可能となっています。



プロジェクト詳細

工場面積: 1,750 – 4,500㎡
床耐荷重: 2 t/㎡
天井高さ: 7 m

アマタナコン工業団地のTICONプロジェクトからの距離 (単位: キロ)

場所	距離 (km)
バンコク	57
スワンナプーム空港	42
アウターリング道路	52
バンブリ工業団地	45
レムチャバン港	46
ピントン工業団地 1	49
ウェルグロー工業団地	26.3



TPARK

ランプーン、北部初のレンタル倉庫プロジェクト

成長し続けている北部の域内総生産（GRP）に反映されているように、タイ北部地域がタイ経済にとって重要な存在となっています。この事実は消費財、小売商品、建築資材などの消費増に合致しており、事業者や物流業者は戦略的な地域と認識しています。



ランプーン・チェンマイで消費増

北部地域9県の人口は600万人で、このうち3分の1にあたる213万人がチェンマイとランプーンの2県に居住しており、この2県への人口集中が北部地域における消費を牽引していると言えるでしょう（北部地域の人口統計は2015年12月31日付の人口・社会調査研究所発表情報に基づく）。

特徴

立地



チェンマイ市、チェンマイ空港、北部工業団地（ランプーン）やサハパットグループ工業団地（ランプーン）などの主要工業団地に近く、また周辺県への接続ポイントの中央に位置しています。

即入居可



お客様の異なる要求に応じられる各種サイズの倉庫を用意していますので、お客様が倉庫建設のために貴重な時間を費やす必要がありません。

高品質



タイ国最大のレンタル倉庫開発業者であるTICON Logistics Park Co., Ltd.が自信を持って設計・建設したプロジェクトです。



TPARKはこの地域のビジネスチャンスを見越して、ランブーン県にTPARKランブーンを開発しました。同プロジェクトはチェンマイ県から100kmほどの第3外環道路上に位置しているため、チェンマイ市内やチェンマイ空港へのアクセスに便利です。また、チェンライ、ランパーン、ターク、メーホンソンなどの周辺向けの商品在庫置き場や配送センターとして最高の場所に立地していますし、卸売、小売、消費財、物流、建築資材といった様々な産業にとって戦略的な場所と言えます。■



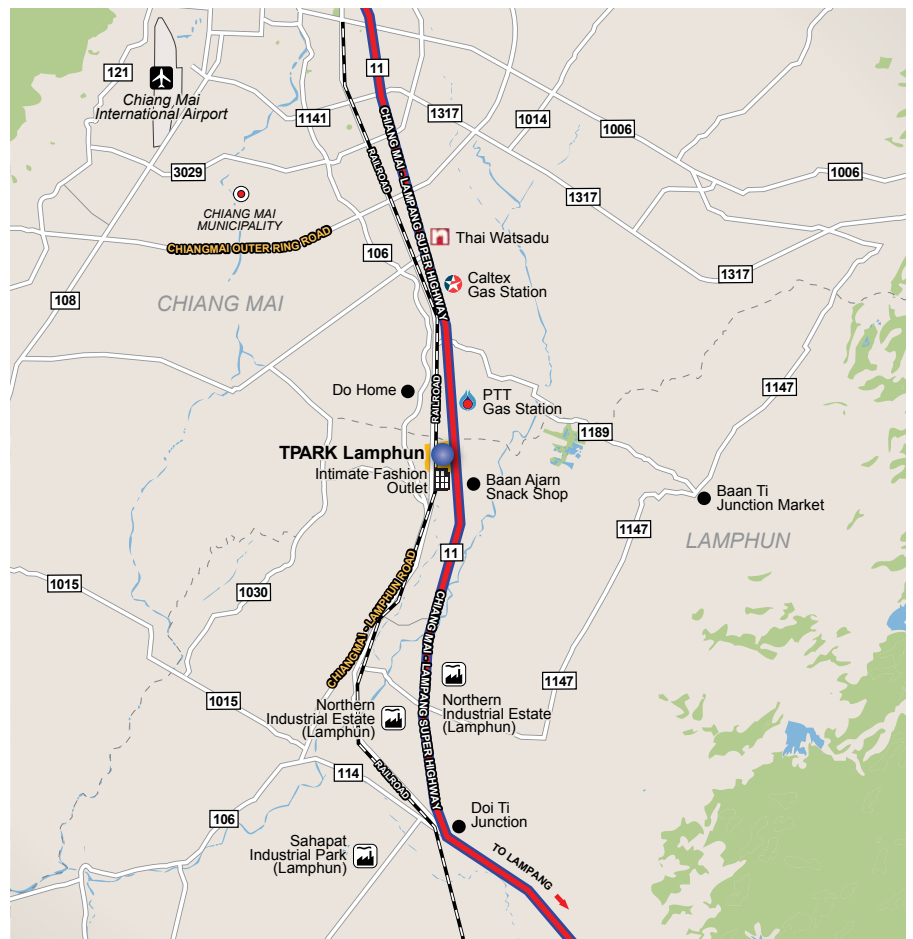
TPARKランブーンからの距離

所在地	キロ
チェンマイ空港	18
北部工業団地(ランブーン)	8.3
サハバットグループ工業団地(ランブーン)	15.5
ドーイティ交差点	12
ランブーン市	16
チェンライ県	199
ランパーン県	76
ターク県	250
メーホンソン県	200

所在地

チェンマイ空港から国道11号線でランブーン方面に向かい、540+500km標識キロ付近の右手にあります。

総開発面積	140ไร่
合計倉庫面積	112,000㎡
倉庫面積(1棟)	1,200㎡ - 27,540㎡
床耐荷重	2トン/㎡
天井高さ	8m



今回のProperty Highlightでは、国道304号線沿いにあるロジャナ工業団地(ブラチンプリ)にある高品質レンタル工場をご紹介します。同工場は現在、敷地面積5,000㎡超を増設中で、自動車やエレクトロニクスなど様々な産業向けに適しており、2016年中に入居が可能となります。タイの各地域向け配送や物流に適した戦略的立地となっているほか、製造拠点を探している製造業にとっても最高の場所と言えます。関心のある方は見学が可能です。

利用可能な物件

所在地: ロジャナ工業団地(ブラチンプリ)

工場面積: 2,000- 4,000㎡
床耐荷重: 3t/㎡
天井高さ: 7m



詳細問合せ、工場見学のご連絡は下記まで。

Tel: +66 (0) 2679 6565

Email: marketing@ticon.co.th または info@ticon.co.th (日本語)

利用可能な物件はここ
でチェック!



詳細問合せ、工場見学のご連絡は下記まで。

Tel: +66 (0) 2679 6565

Email: marketing@ticon.co.th または info@ticon.co.th (日本語)

利用可能な物件はここ
でチェック!



利用可能な物件

所在地: コンケン県第2ミトラパーブ道路の一般ゾーン。

倉庫面積: 640-840㎡/ユニット
床耐荷重: 2t/㎡
天井高さ: 8m

TPARKコンケン、タイ東北部において初めて開発された高品質レンタル倉庫です。コンケン市内から10kmの好立地にあり、イサーン各地への配送に便利で物流効率を高めることが可能なため、消費財や小売、物流などの事業に適しています。TPARKコンケンでは、12ユニット、合計面積10,000㎡超が利用可能で、将来は拡張を予定しています。関心のある方は見学が可能です。



Mr. Samart Russameerojwong

Chief Investor Relation
TICON Industrial Connection Plc.

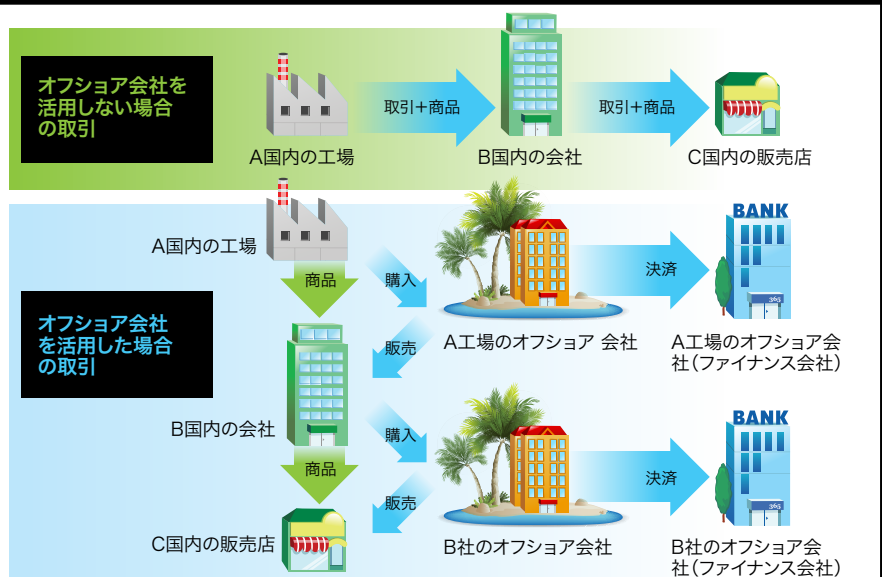
オフショア会社と ファイナンス戦略 (2)

オフショア会社は、タックスヘイブン（租税回避地）に設立される法人であり、タックスヘイブン内における国内取引は禁止されています。オフショア会社設立には多額の資本金を必要とせず、安い手数料と簡単な手続きで設立でき、会社維持に必要な年間手数料も高くなく、固定額となっています。また、現地政府に対する所得税は発生せず、多くのビジネスを行うことが可能です。

人気のあるオフショア会社の場所は英領バージン諸島、カリブ海の島嶼国、香港などです。統計によれば、これらの国での設立件数は年間で平均10万件以上となっています。設立場所を考慮する際の要因として含まれるのは、オフショア会社のファイナンス上の利益を最大化するため、取引相手の事業場所がどこにあるかという点です。これは、親会社の所得が発生する国における節税や契約当事者間の価格に関する交渉条件などが関わってくるためです。

オフショア銀行は金融サービスのひとつですが、当事国同士の合意によって外資を呼び込み、それによってファイナンス取引を実行させ、通常金融機関によって提供されるよりも大きい利益を確保するやり方です。

オフショア会社 (TRADING) の活用事例



オフショア会社を活用しない場合の輸出入取引および決済においては、購入者は商品の仕入先が誰であったとしても当該仕入先に対して支払いを行い、販売者は購入者との間で直接、商品の配送と代金の授受を行います。この方法では、オフショア会社を活用する場合と比較して、所得税や各種手数料を含む大きな金額の税金が発生します。一方、オフショア会社を活用

した場合、オフショア会社が間に入ってドキュメント処理を行い、製品はA国の工場からB国の会社へ直送されますが、利益をオフショア会社で維持するため、A国の工場からの出荷価格が調整されることになります。決済はタックス・ヘイブン国にあるオフショア銀行を通じて行われることになります。■

ロレアル・タイランドがTPARKバンナの新配送センターで祠起工式



世界最大の化粧品会社であるロレアルのタイ現地法人、ロレアル(タイランド)はこのほど、TICON Logistics Park Co., Ltd.(TPARK)が開発・運営するTPARKバンナの新配送センターで祠起工式を執り行いました。同センターの面積は20,736㎡で、米国グリーンビル協会が開発した建物の環境性能評価システムであるLEED (Leadership in Energy and Environmental Design) の基準に従って建設された、ロレアル・タイランド初のグリーン配送センターです。TPARKバンナは、高品質の設備やインフラが充実しており、さらには同社の将来の拡張にも容易に対応可能となっています。■

写真：マノート・バラブリーワン氏(オペレーション・ディレクター、左端)、マナットルディ・スワンナラット氏(ヒューマンリソース・ディレクター、左から3人目)、ウィロンローン・タウィーパーク氏(配送センター・シニアマネジャー、右端)とロレアル・タイランドの作業チーム

TICONグループ、タイ初のLEED銀賞を取得

タイ最大の高品質レンタル倉庫供給会社であるTICONグループ(TICON Industrial Connection Pcl.ウィラバン・ブーンゲート社長、TICON Logistics Park Co.,Ltd.テン・チタパンクンGM)は、TPARKワンノイ2の倉庫(面積25,380㎡)で、米国に本部を置く国際的なグリーンビル認証機関である米国グリーンビル評議会(USGBC)により、環境性能評価システムであるLEED (Leadership in Energy and Environmental Design) 銀賞レベルの認証を取得しました。環境にやさしいこのグリーン倉庫は、一般の倉庫と比較して32%のエネルギー効率アップおよび42%の節水を実現、倉庫利用者の生命・健康の増進にも貢献します。■





Forme Medical Ltd.

Forme Medical株式会社はオーストラリアの医薬品製造会社で、製品は病院や医薬品産業関連の企業に納入されています。同社はこのほど、製造目的に使用するため、レムチャバン工業団地内のTICON工場(面積2,100㎡)を賃借しました。



Kuroda Auto-Tech (Thailand) Co., Ltd.

クロダオートテック(タイランド)株式会社は日本の自動車部品及び電子機器の製造会社で、その製品は有名な自動車会社に納入されています。同社は製造目的のため、このほどロジャナ工業団地内のTICON工場(面積:1,400㎡)を賃借しました。



Uniteck TH Co., Ltd.

Uniteck TH 株式会社は中国のエレクトロニクス部品メーカーで、製品は広く名前が知られているエレクトロニクス会社に納入されています。同社は最近、製造工程に資するため、ロジャナ工業団地内のTICON工場(面積2,000㎡)を賃借しました。



HazChem Logistics Management Co., Ltd.

Triple i Logisticsグループの子会社のひとつであるHazChem Logistics Management株式会社は、化学産業や医薬品産業で使用される危険な化学品や商品の扱いを専門とする国際的な貨物輸送及び物流会社です。製品貯蔵のため、同社はこのほど、TPARKバンナの別の倉庫(面積:1,350㎡)を賃借しました。



Petkus Asia Ltd.

Petkus Asia株式会社はドイツの産業機械メーカーで、その製品は広く知られた企業に納入されています。同社は最近、製品貯蔵のため、TPARKバンナ内の倉庫(面積1,250㎡)を賃借しました。



Schenker (Thai) Ltd.

Schenker (Thai) 株式会社は総合的な国際輸送・物流サービスを提供するタイの物流サービス提供会社で、陸上・航空・海上輸送、通関業務、サプライチェーン管理業務などを提供することによって国際取引を支えています。同社は最近、自社の物流サービスを支援する目的で、TPARKレムチャバン1内の倉庫(面積5,220㎡)を賃借しました。



Tri-wall Packaging (Thai) Co., Ltd.

Tri-Wall Packaging(Thai)株式会社は日本のパッケージ製造会社で、その製品は自動車産業、航空宇宙産業、その他の多くの重工業分野に供給されています。同社は最近、製品貯蔵のため、TPARKイースタンシーボード3内の倉庫(面積:1,500㎡)を賃借しました。

リーン生産方式と 産業への影響



リーン生産方式の目標は、顧客マネージメント、製品設計、製造業者とのコンタクト、工場マネジメントなどの各分野で発生する8項目(7 + 1 Wastes)のムダを排除することにあります。リーン生産方式は企業のコスト効率化に極めて重要であり、この方式によって無駄を排除し利益を増加させることが可能になります。リーン生産方式を十分に理解し、どの作業が付加価値を生み、どの作業が核心ではないかを認識できるように従業員を教育することが重要となります。

リーン生産方式とは、国内外を問わず厳しい競争が避けられないビジネス環境下で、あらゆる工場や産業がその競争力を高めるために追い求める生産システムのことを言います。予測できない経済情勢の中で、不確実な将来の下でも確実に企業を導く能力が備えられれば、それは企業を守る手助けになります。これを成し遂げるため、企業は、迅速且つ正確に、タイミングよく、そして適切なコストで顧客ニーズに対応する効果的な生産システムを通じて競争力を高めなければなりません。これこそが今日の厳しいビジネス環境の下で、企業が確固とした地歩を築くための礎です。





SINCE 1980



日々の作業は、次の2つに分けることができます。

- 付加価値を生む作業とは、顧客ニーズへの対応を目的として、原材料や情報を改善する作業のことです。
- 付加価値を生まない作業とは、時間、従業員、機械、スペース等の資源を使うにもかかわらず、顧客満足を生まない作業のことです。この作業をムダと言います。

詳細は
http://www.v-servelogistics.com/media/vserve/training_kmview.php?id=1

(次号に続く)





KUEHNE+NAGEL

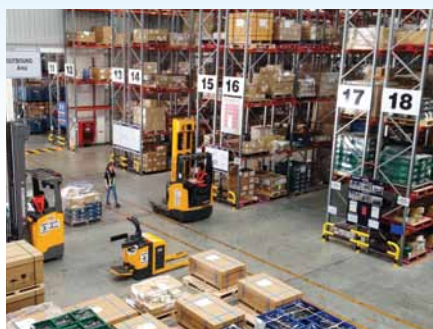


キューネ・アンド・ナーゲル社 (KUEHNE+NAGEL) について



125年の歴史を持つキューネ・アンド・ナーゲル社は、昔ながらの国際貨物輸送サービス会社からスタートし、今では世界規模で革新的な総合サプライチェーンを提供する会社までに事業を拡大してきました。同社は現在、世界100カ国に1,200カ所以上の拠点を構え、68,000人以上の社員が勤務しています。

当社は、時間およびコスト両面において効率的な解決策を提案します。また、信頼できる事業パートナーとして、長年の経験を通して得たノウハウにより、顧客の業務がスムーズかつ効率的に進むように作業オペレーションを組み立て、それによってコストおよび在庫の低減を実現し、顧客の競争力向上および利益の増進に貢献します。



キューネ・アンド・ナーゲル社は、65カ国で950万㎡以上の倉庫および物流スペースを管理しており、物流事業の外部委託や複雑なサプライチェーン管理を求める顧客が選択する事業委託パートナーです。当社は、世界を代表する物流サービス提供会社の1社として、最高の業務遂行能力、新機軸そして経験に基づく生産性を追及しています。

キューネ・アンド・ナーゲル社は、常に顧客とともに成長することを目指しています。すべての産業向けにサービスを提供していますが、とりわけタイの自動車産業の地域ハブ化をサポートしていく方針で、当社はこのほど、TPARKイースタンシーボード1Bの倉庫(面積15,000㎡)及びTPARKレムチャバン2のフリーゾーン倉庫(面積2,500㎡)を賃借し、業務拡大を実行しました。■

"Kuehne + Nagel always looks to grow with its customers. We serve all industries with a strong focus on making Thailand the regional hub for the automotive industry. Responding to the needs of an automotive customer"



Take a Break



Black Cherry Cake



New York Cheese Cake



Strawberry Pudding

ダなどが用意されています。週末を恋人や友人とゆっくり過ごしたい方に適した店です。シラチャ方面にお出でになりましたら立ち寄ることをお勧めします。■

今回のTake a Breakでは、TPARKシラチャの近くにある有名ケーキ店「Baan Ton Cake」をご紹介します。この店の特徴は、緑に囲まれたオープンスペースでおいしいスイーツを食べることができることです。写真撮影に適したスポットも数多くあります。また、エアコンの効いた店内で食べることも可能です。

数多くあるスイーツのなかからお勧めするのは、新鮮なフルーツでトッピングしたやわらかくてほどよい甘さの「シーズンフルーツケーキ」とチョコとチェリー味がミックスした甘い香りの「ブラックチェリーケーキ」



Black and White Chocolate Cake



Blueberry Cheese Cake

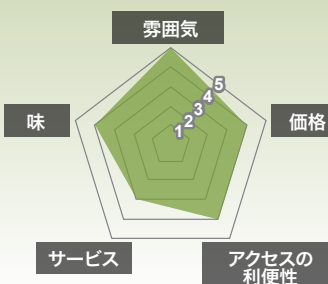
です。他にも「タイティーケーキ」「チョコレートファッジケーキ」「ココナッツパイ」「ニューヨークチーズケーキ」「ブルーベリーチーズケーキ」「ストロベリープリン」「ブラック&ホワイトチョコレートケーキ」など、食べてみたくなるスイーツがたくさんあります。ドリンクもフレッシュコーヒー、フルーツジュース、紅茶、ソー

Baan Ton Cake

営業時間：
9時～21時

住所： チョンブリ県セーンスック郡セーンスック町セーンスック通り（ノンモン市場の反対側、カシコン銀行のあるソイ）

電話： 038-390-238

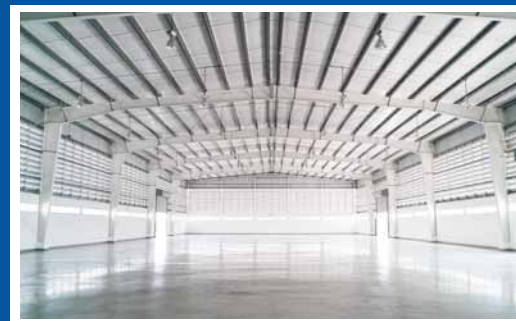


LEADING PROVIDER OF QUALITY FACTORIES IN INDUSTRIAL ESTATES IN THAILAND



18
PROJECTS ACROSS
THE COUNTRY

**READY BUILT
FACTORIES FOR RENT**



Contact us:
Tel: +66 (0) 2679 6565
Email: marketing@ticon.co.th
info@ticon.co.th (japanese)
www.ticon.co.th

TICON Industrial Connection Public Company Limited
13th Floor, Sathorn City Tower, 175 South Sathorn Road,
Bangkok, 10120 Thailand